

# 2019年3月期 2Q 決算説明資料

第155期

2018年4月1日～2018年9月30日

2018年10月31日

代表取締役 会長兼社長 坂本 隆司



# 業績の概要（前年同期比較）



## 連結

（単位：百万円）

	'17年 4-9月	'18年 4-9月	比較	増減率
売上高	28,071	29,438	1,366	4.9%
営業利益	2,357	2,063	△293	△12.5%
経常利益	2,151	2,006	△145	△6.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,411	1,239	△171	△12.2%

売上高：難燃剤、光硬化樹脂用材料が大幅に伸長

増収

営業利益：国産ナフサ価格の上昇、ライフサイエンス事業への  
本格参入による研究開発費の増加

減益

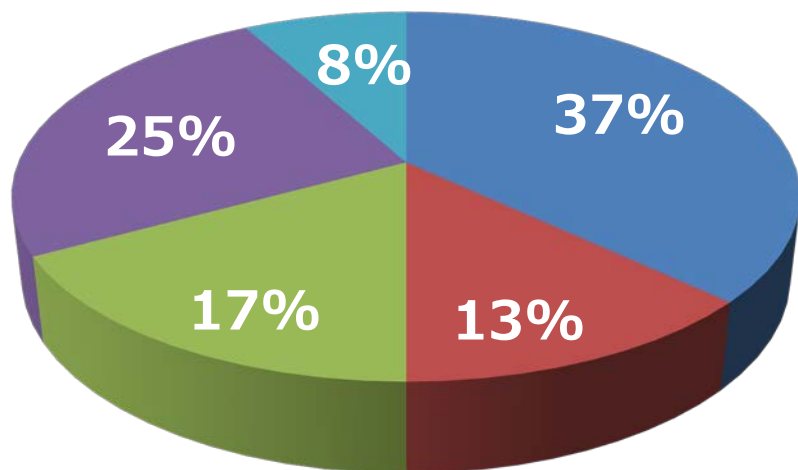
経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は

減益

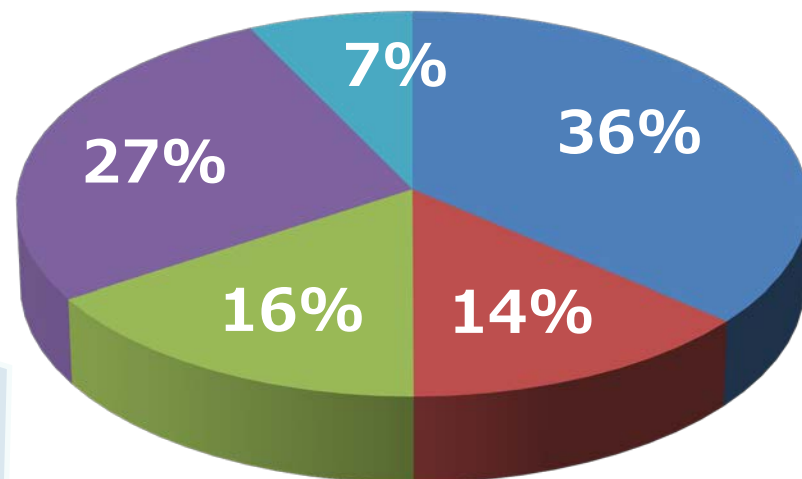
営業外収支は改善するも固定資産の減損などにより減益

# セグメント別売上構成比率

連結



'17年4-9月期  
(中間)



'18年4-9月期  
(中間)

- 界面活性剤
- アメニティ材料
- ウレタン材料
- 機能材料
- 電子デバイス材料

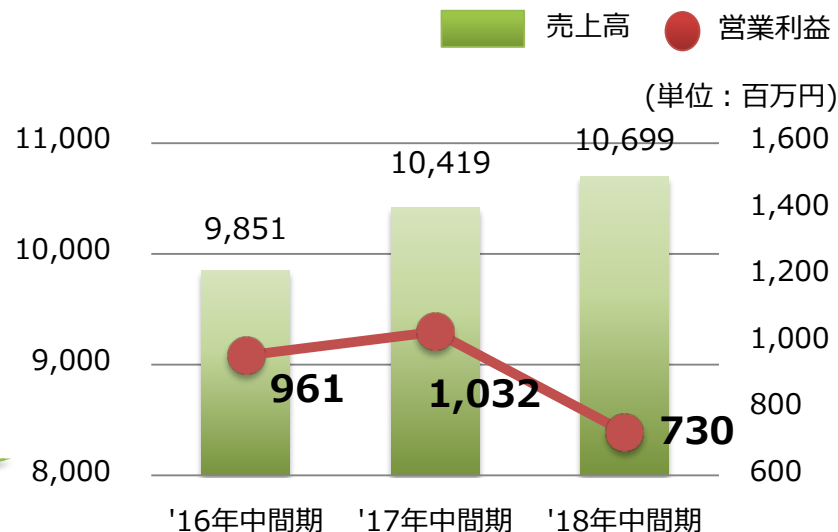
## 連結

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高は、好調に伸長しました。  
IT・電子材料用途は好調。  
石けん洗剤用途は伸長しました。

主な機能：洗淨、分散、乳化

前年同期比  
売上高： 106億99百万円 +2.7%  
営業利益： 7億30百万円△29.3%



### IT・電子材料用途



堅調

### 石けん、洗剤用途



大幅な減益

### 塗料・色材



順調

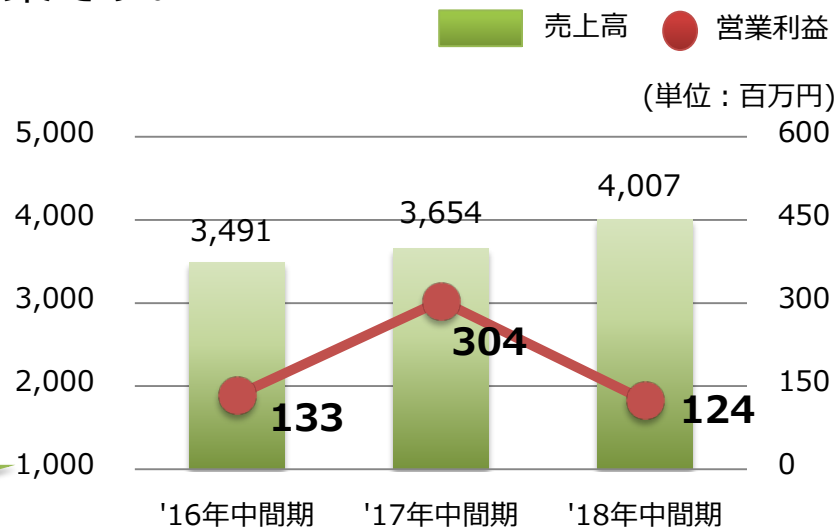
## 連結

生活環境において快適性を求める材料や  
周辺応用技術を提供している事業です。

売上高は、伸長しました。  
香粧品、食品用途が順調でした。  
エネルギー・環境用途が伸長

主な機能：増粘、分散、乳化

売上高：	40億7百万円	前年同期比 +9.6%
営業利益：	1億24百万円	△59.2%



### 香粧品用途



順調



### 食品用途



大幅な減益



## 連結

土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料など  
ウレタン用原料を提供している事業です。

売上高は、やや低迷しました。  
土木用途が、大きく落ち込みました。

主な機能：接着、絶縁、止水

売上高：46億42百万円

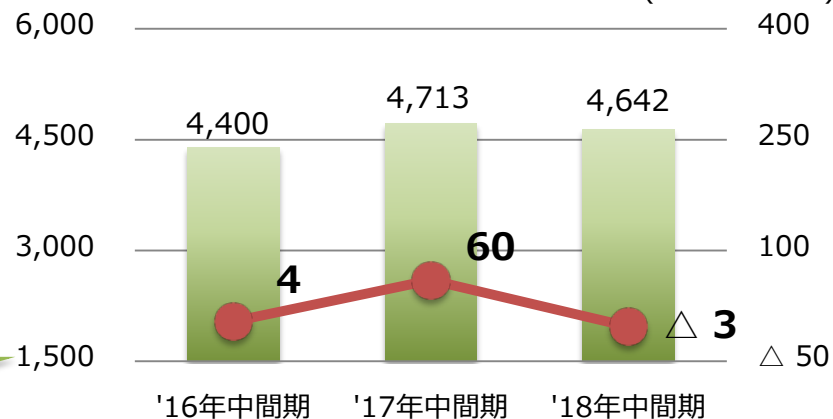
営業損失：3百万円

前年同期比  
△1.5%

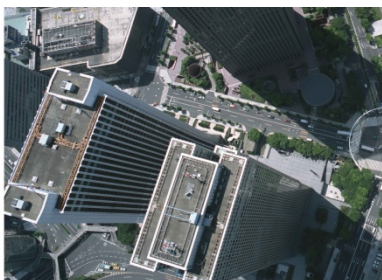
前期は60百万円の  
利益

■ 売上高 ● 営業利益

(単位：百万円)



### 建築用途



### 土木用途



### 合成潤滑油用途



低調



大幅な減益



改善

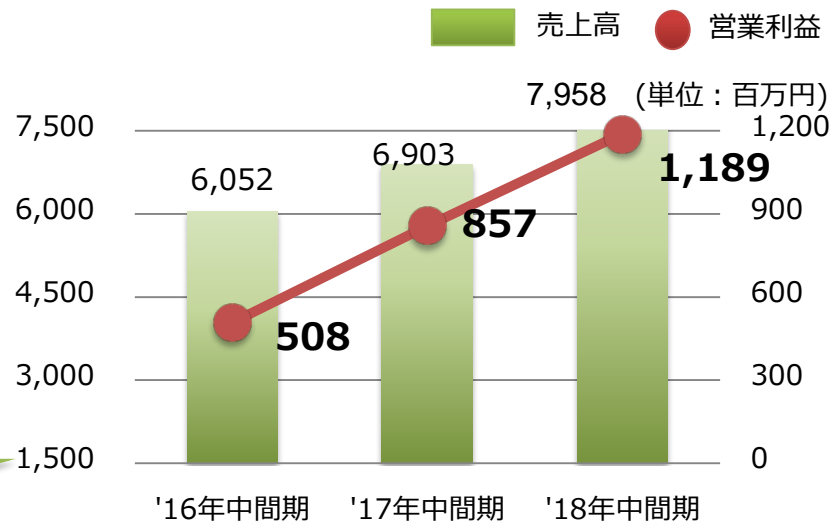
## 連結

家電や生活の必需品用途に、難燃剤や光硬化樹脂、ポリウレタン水分散体などの製品を提供している事業です。

売上高は、大幅に伸長しました。  
電子材料用途・プラスチック用  
難燃剤が伸長しました。

主な機能：難燃化、表面コート

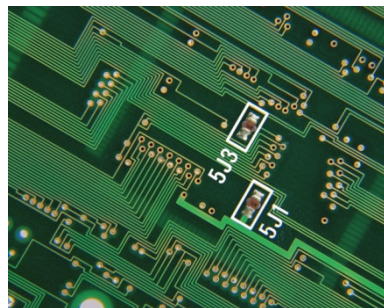
		前年同期比
売上高：	79億58百万円	+15.3%
営業利益：	11億89百万円	+38.7%



### 電子材料用途



大幅な増益



### プラスチック用難燃剤用途



大幅な増益



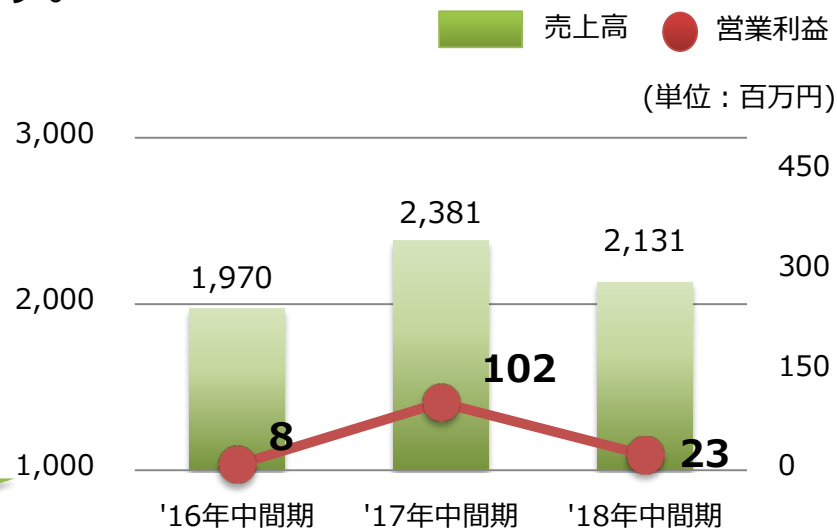
## 連結

家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。

売上高は、子会社の再編で大きく落ち込みました。一方、太陽電池用途は、伸ばしました。

主な機能：高効率、精密化

		前年同期比
売上高：	21億31百万円	△10.5%
営業利益：	23百万円	△77.4%



### セラミックス材料用途



低迷



### 太陽電池用途



好調





## ライフサイエンス事業の中核を担う

(株) バイオコクーン研究所 (岩手県) と  
池田薬草 (株) (徳島県) を完全子会社に。

健康食品として、  
特定のルートから販売を開始する計画。



### 第二ステップ

2019年度から池田薬草の技術を用いて機能性表示食品を商品化。

**業績寄与に注力して  
第三ステップに進みます。**

## セルローズナノファイバー（CNF）の開発

### 京都市産業技術研究所との共同研究

これまでの京焼・清水焼にはない、  
独特の艶消し感や透光感を生み出す。



すりガラスと同程度に光を通すため  
中に入れた飲み物が透けて見える。

当社のCNFはセラミックス成形助剤  
として機能し、新用途の拡大を図る。

**化粧品用途へも拡大  
設備もフル稼働状態**

特許出願中

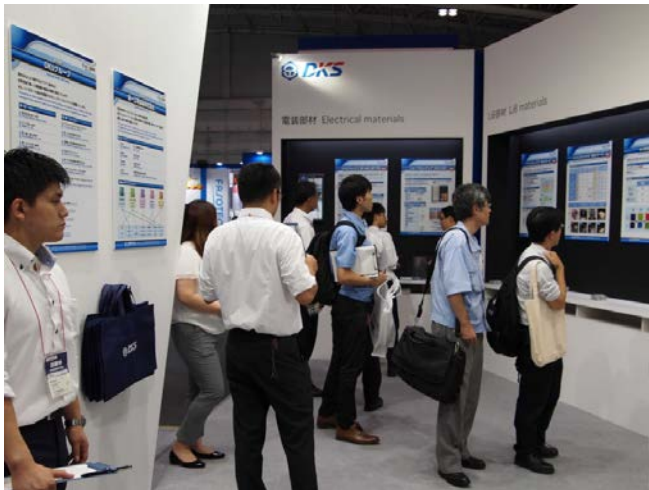
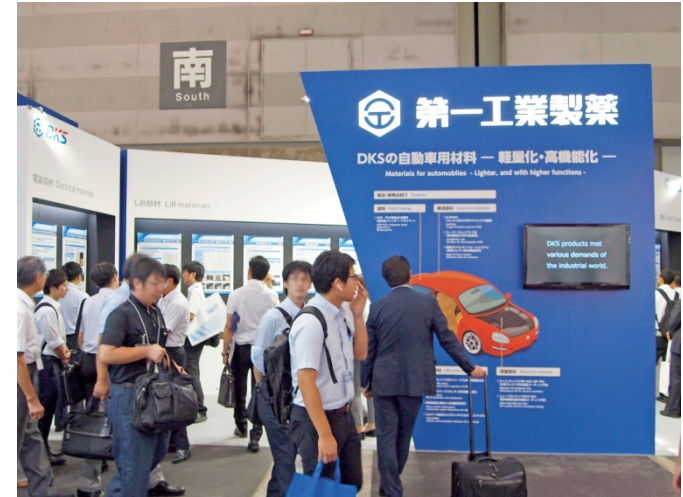
## 自動車の軽量化、高性能化、安全性向上に貢献する部素材を出展

### 1)電装部材

- ・水系ウレタン系の絶縁コーティング材
- ・紫外線硬化型の絶縁コーティング材

### 2)LiB部材

- ・LiBの類焼防止材
- ・ウレタン系の放熱材料
- ・導電助剤分散体
- ・電池用カルボキシメチルセルロースナトリウム



### 3)構造部材

- ・ウレタン系のCFRPマトリクス樹脂
- ・熱可塑性CFRPの改質剤
- ・発泡ウレタン系の構造部材

### 4)塗料

- ・塗料用バインダー・プライマー

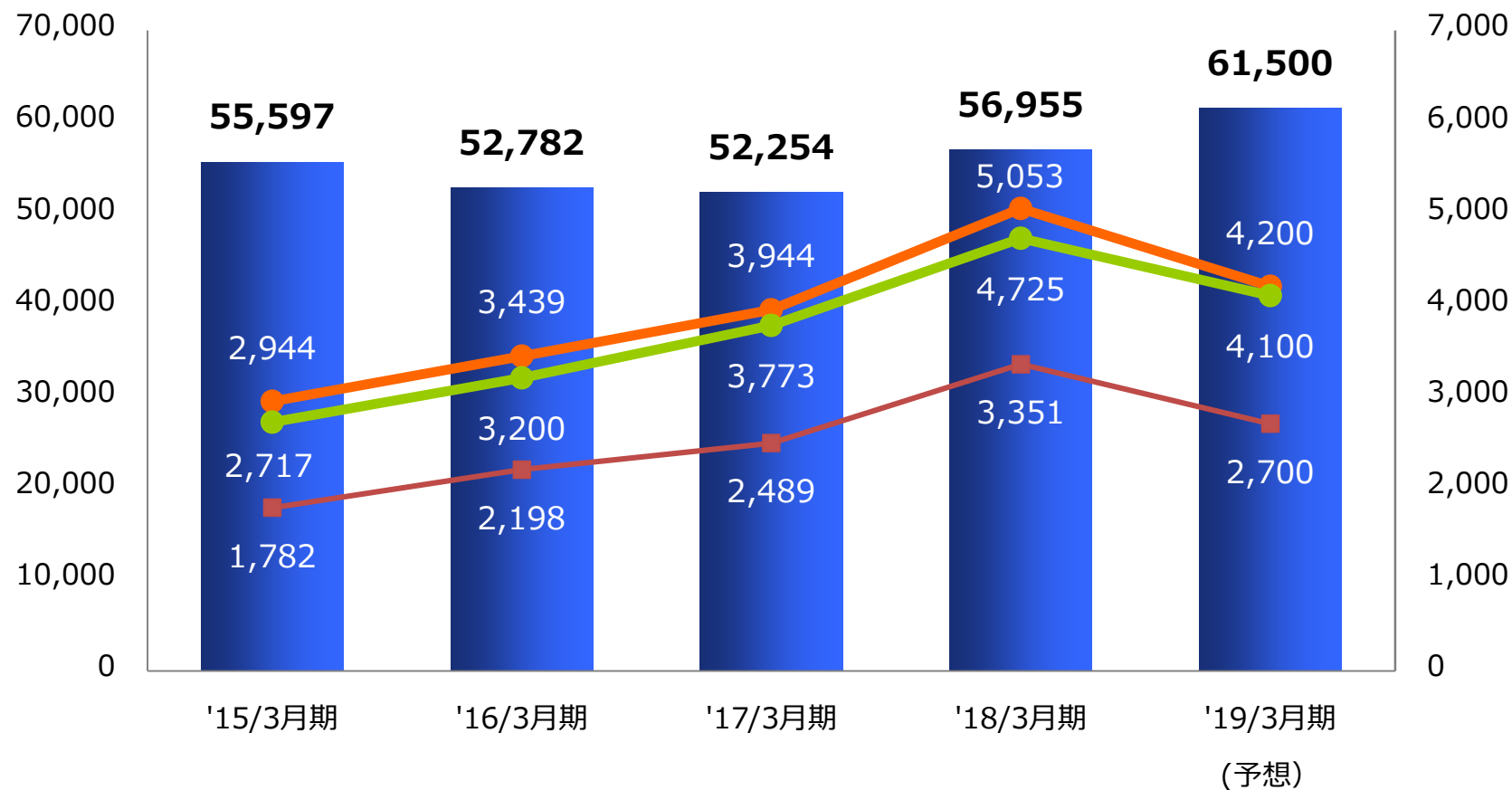
# 連結業績推移および予想



(単位:百万円)

【売上高】

【利益】



■ 売上高    ● 営業利益    ● 経常利益    ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

# 参考資料 比較貸借対照表



連結

(単位：百万円)

	'18年 3月末	'18年 9月末	前期末比 増減額		'18年 3月末	'18年 9月末	前期末比 増減額
<b>流動資産</b>	<b>40,587</b>	<b>37,871</b>	<b>△2,715</b>	<b>負債</b>	<b>41,697</b>	<b>40,580</b>	<b>△1,117</b>
現預金	11,523	7,768	△3,755	仕入債務	12,222	12,295	72
売上債権	16,515	17,682	1,166	有利子負債	24,752	23,400	△1,352
たな卸資産	9,950	10,364	413	その他	4,721	4,884	163
その他	2,597	2,056	△541				
<b>固定資産</b>	<b>33,071</b>	<b>35,000</b>	<b>1,929</b>	<b>純資産</b>	<b>31,960</b>	<b>32,291</b>	<b>330</b>
有形固定資産	27,584	27,217	△367	株主資本	29,076	29,657	581
無形固定資産	378	428	50	その他の包括利益累計額	1,082	836	△246
投資・その他の資産	5,108	7,354	2,245	非支配株主持分	1,801	1,797	△3
<b>合計</b>	<b>73,658</b>	<b>72,872</b>	<b>△786</b>	<b>合計</b>	<b>73,658</b>	<b>72,872</b>	<b>△786</b>

## 連結

(単位：百万円)

	'17年 4-9月	'18年 4-9月	前年同期比 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,710	1,371	△339
投資活動におけるキャッシュ・フロー	△1,572	△3,021	△1,449
フリー・キャッシュ・フロー	138	△1,650	△1,788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,876	△2,006	869
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△94	△84
現金及び現金同等物の増減	△2,747	△3,750	△1,003
現金及び現金同等物の期末残高	6,548	7,651	1,103

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。